

山科の心

～折れない心・熱い心・優しい心～

令和2年4月30日
第2号
京都市立山科中学校
校長 鍵野 要

◎がんばれ山中生、頑張ろう 共に・・・

先日、各ご家庭のポストに臨時休業延長に伴う家庭学習等と共に、延長のお知らせを入れさせて頂きました。京都市では全市立学校・幼稚園において4月10日～5月6日までを臨時休業期間としていましたが、本市の感染状況が引き続き警戒を緩めることができない状態にあることから、臨時休業を5月17日（日曜日）まで延長することとなりました。なお5月18日以降については、連休中におそらく方向性が出されるであろう、国の緊急事態宣言の延長の有無や本市域の感染状況等を踏まえ、改めて決定することになります。数か月前には、こんな状態が起こるとは誰も予想できてなかったですが、臨時休業期間が長く続いています。まずはさらに、各ご家庭の健康管理を第1に考えて頂きますようお願い致します。



学校では、生徒たちへの影響を最小限にとどめるため、生徒の学びを途切れさせすことなく、授業再開への学びや再開後の学びの充実に向け、創意工夫ある取組を推進していくことが重要であると考えています。ホームページでも学校の様子や家庭学習等、日々お伝えしていますが、家庭学習でわからないことや困っていることがあれば遠慮なしに相談してもらえればと思います。今後、感染の拡大が続くようであれば山科中校区からも感染される方が出ないとも限りません。また、無症状や無検査による感染をされている方が存在する可能性もあります。何とか山科中校区で集団感染はおこさない、濃厚接触者を出さないよう取組を進めなければと考えています。学校教育再開時には感染が収まり、安全な状況になっているよう祈る思いですが、学校が再開される時に感染の心配が全くなくなっているということは、今は考えにくい状況です。学校生活が始まっても、今まで普通にできてきたことが、例年のようにはいかないことが多いあるかと思います。教育活動再開と感染予防を両立するためには、まず教職員・生徒・保護者・地域の方々、全ての人の予防意識をさらに高め、知恵を出し合い、今できることを徹底して行うしかないのではないかと考えます。

また、これから社会は「家族が感染した・収入が激減した・失業した」などの家庭環境の急激な変化が誰にでも起こり得る可能性があります。その中で生徒の心の問題・人間関係トラブル・心ない発言などの人権に関わる問題が心配です。生徒の皆さんは心配な事があれば、いつでも相談してください。学校・学年・担任の先生は、貴方達の最大の味方です。

学校再開するに至って、課題はたくさんあります。それらも含めて、この状況をしっかりと受け止め、社会や学校で共に生きて暮らしていく中で、誰も経験したことがない、この危機的状況をどう乗り越えるのか、大人も含めて考える機会だと思います。そして一日も早くこのような事態が終息を迎え、心穏やかに笑顔があふれる普段の生活を取り戻し、学習にスポーツに芸術に、伸び伸びと力一杯活動ができる日が来ることを信じ頑張りたいと思います。引き続き、ご理解・ご協力をよろしくお願ひいたします。

◎本校の教育目標・・

「山科の心 ～折れない心 熱い心 優しい心～」

～「生きる力」を身につけ、心と知性ある豊かな人間を育成する～

◎就学援助認定申請の手続きについて

すでにお知らせしていますように、京都市ではお子さんが市立小学校・中学校・小中学校へ就学するにあたり、経済的な理由により、お困りの保護者に対し、就学援助制度を設けています。

本校では継続手続きが必要なご家庭には、ご連絡をし、4月30日・5月1日に各ご家庭のポストに書類等を投函させていただいております。従来の申請期限が臨時休業中となったため、今年度は期間を設け保護者の方に来校頂き、手続きを進めることとしています。ご理解・ご協力の程、宜しくお願ひいたします。

なお、このような時期にご持参して頂くこともご家庭の状況等により、困難な場合があると考えます。教育委員会からも今年度に限り、新規・継続の申請ともに、学校再開後1ヶ月以内に提出いただいた場合も、期限内に提出いただいたものとして継続認定を行ってよいことになりました。

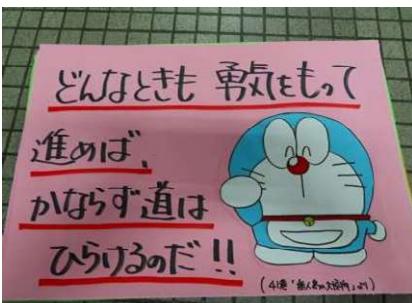
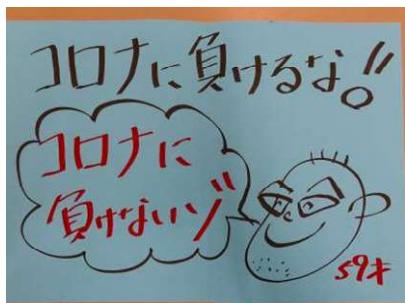
持参困難な場合や就学援助の申請についてお困りやご不明な点がございましたら、遠慮なく学校までご相談してください。また新型コロナウイルス感染症の影響に伴う失業や給与の激減等、経済的な理由でお困りの場合は、経済状況の悪化がわかるものをご提出いただくこと等により認定できる場合があります。まずは、学校にご相談ください。

◎頑張ろう、人間。守ろう、人権。

5月1日～7日は憲法週間です。毎年、本校ではこの時期に人権について全校集会を開き、皆で考える機会を持っています。その中でも、伝統的にいじめ追放に向けて取り組みを進め、今年度も生徒会が中心に取り組んでくれる予定でした。しかし臨時休業のなか、皆で考える機会は時期が学校再開後となります。各自が基本的人権について考える期間と捉えてほしいと思います。現在、新型コロナウイルスの感染拡大によって、さらに人間の心の在り方が今、世界中で問われています。

新型コロナウイルスに感染してしまった方やその家族・関係者、治療にあたってくださった医療関係者、海外からの帰国者、特定の国の人などに対する誹謗中傷や心ない書き込みがSNS等で見られ、憤りを感じています。不確かな情報や誤解に基づく不当な差別、偏見、いじめは決して許されるものではありません。

そうした差別や偏見が拡がることは、人々の不安を煽り、感染拡大防止の妨げにも繋がります。誤った情報・無責任な情報に惑わされることなく、正確な情報を入手しましょう。そして、一人ひとりがお互いを思いやり、心ある人権に配慮した適切で冷静な言動を今こそ、さらに考えなければならないと思います。どうぞ、よろしくお願ひします。日々、暗いニュースを発信している割合が多いですが、逆にこの時期に、これからの人類の新たな生き方を考えさせるような発信も多数見られます。世界中の人々に今後の社会のあり方・生き方をどうすべきかをこのウイルスは問いかけているかもしれません。



※先生方より君たちへのメッセージ

※京都タワーも医療従事者に感謝・応援の気持ちを込めて青色に点灯